

彙報

史学研究会 例会

四月二十八日(土)午後一時より

於同志社大学大学院第三教室

一、ギリシア的ヒューマニズム 村田敷之亮

一、キリスト教精神史の方法 魚木 忠一

五月二十六日(土)午後一時半より

於関西大学大学院

一、阿片以前の事 森 鹿三

一、アラビヤ事件におけるイタリヤの外交 安藤 俊雄

六月二十三日(土)午後一時より

於和歌山大学学芸学部

一、「さる」という言葉とその法思想的意義の 平山 行三

考察

一、歴史地理学に見た日本の都市 藤岡謙二郎

一、歴史地理学に見た日本の都市

一、歴史地理学に見た日本の都市

京大國史関係

院史会例会 一月二十四日(水)

院史会例会 二月十日(土)

院史会例会 二月十日(土)

院史会例会 二月十日(土)

井上 司

文化史の方法

近世封建社会成立序論

新入生歓迎会 四月二十八日(水)於百万遍

竜見院

旧制臨時編入五人・新制十一人の新入会員

を迎えた本会歓迎会は、約五十名の出席者

をえて、歓迎の辞に込めて新会員の自己紹

介、欲談と和やかな空気の裡に、午後五時

頃散会した。

院史会例会 五月九日

古代地方豪族と屯倉

中世末期の歴史的動向

院史会春季見学旅行 五月二十三(水)一

春季旅行は伊勢方面を見学踏査した。参加者

は小葉田・柴田両教授をはじめ、大学院学生

等、学生計二十六名。

【第一日】午前八時二十八分奈良電にて京

都駅発、同十一時宇治山田着。直に外宮に参

拝、次いで光明寺に至り、光明寺残篇・繪城宗

広並夫人書状などを拝観。光明寺を出て世義

寺に向い治承二年銘陶経筒などを拝観、次いで

神宮文庫に向い、ここで約二時間に亘り各種

の文書史料を採集した。サンマータイムの日

石田 一良

楠瀬 勝

はまた高かつたが、文庫を出て二見に向い六

時過ぎ、宿屋に落付いた。

【第二日】午前八時宿所を出発、内宮に

参詣。その後バスにて朝熊山金剛証寺に登る。

九鬼嘉隆画像・木造雨宝童子立像、承安三年

銘の陶経筒等の国宝類を始め、種々見学した

が、時間に迫られるまゝ、昼食後直ぐ下山・近

鉄に乗換え松阪に向う。途中一部の者は明星

駅にて下車、安養寺に立寄り鎌倉・室町時代

の古文書を採訪。松阪市史編纂所で迎付き、

鈴鹿文庫見学のち午後五時三十五分の汽車

に乗り、京都に九時半過ぎ帰着、互に労を慰

しつゝ家路についた。

末筆乍ら本旅行に際し猷身の御世話を戴い

た先輩平松令三氏に深謝する次第です。

院史会春季大会 五月二十七日(日)

午前十時一午後四時

日本文化の性格的類型

近世の商業的農業の一展望

浄土教における悪人正機説の成立

信仰の社会的経済的基盤

田村 円澄

江本 義文

仲村 勝

井之元春義

田村 円澄

江本 義文

江本 義文

白鳳奈良期における日本新羅の政治思想について

京大東洋史談話会 新入生歓迎ビクニック五月三日、大原三千院、寂光院。

第四回例会 六月二十一日於史学科会議室 D.G.H. Cole: A Short History of the British Working Class movement 美濃部嘉一

長渚御厨佳民の動向

黒川 正宏

書庫見学 五月三十一日、新入生のための人文科学研究所書庫見学。終つて懇親会を開催。

第五回例会 六月二十八日於史学科会議室 Hacker: The Triumph of American Capitalism 茨木 慶三

輓について

山形 友郎

寺 座

竹田 聰州

京大西洋史関係

九州西北海岸の捕鯨業

小栗田 淳

西洋史読書会 第一回例会四月二十六日於史学科会議室

京大人文地理関係

明六社について

佐藤 利夫

E. Troeltsch: Die Bedeutung des Protestantismus für Die Entstehung der modernen Welt, 1906 岡田 章

洋学の歴史的性格

海部 庸男

地理学談話会を次の如く開催。 一月例会 一月二十日(土) 日振島の人口について 三月例会 三月十三日(火) 卒業生岡橋圭四郎・松岡直夫(選科)両君の卒業論文発表

畿内における郷村制

松山 宏

六月例会 六月一日(土) 民族学に於ける地理学的方法 石川 榮吉

中世思想史の一問題—太平記を繞つて—

井上 良信

第二回例会 五月十日於史学科会議室 B. Pares: A History of Russia, 1926 大西 晏

近世捕鯨業について

第三回例会 五月三十一日於史学科会議室 K. Reinhardt: Sophokles F. Nietzsche: Geschichte der Griechischen Beredsamkeit. 永井 康規

読史会例会 七月十四日(土)

古谷 俊夫

畿内における領主制の展開

黒田 俊雄

平戸イギリス商館員ホストについて

富永 保男

W. Jaeger: Demosthenes, der Staatsmann und sein Werden 西沢 竜生

織田先生歸朝歓迎談話会 六月二十三日(土) オーストラリアの基準貨銀制度—その経済地理学的意義 河地 貫一

京大東洋史関係

東洋史研究会 東洋史研究第十一卷第二号合評会を七月三十一日京大人文科学研究所会議室で行つた。

評会を七月三十一日京大人文科学研究所会議室で行つた。

評会を七月三十一日京大人文科学研究所会議室で行つた。

アメリカ視察談 織田 武雄

日アメリカの一般教育視察の目的を以つて羽田発渡米、五月二十九日無事帰朝された。

京大考古学関係

梅原教授四國・中國方面調査旅行 梅原教授は三月八日より一週間、考古学教室の横山氏を同伴して徳島・高松・岡山の各方面に新山の資料を探索された。調査は銅鐸及び古墳関係の資料を中心とし前者では阿波・讃岐・備前の各地から新たに出土した三鐸の他、所有者が永年公開を肯んじなかつた阿波山口出土の二鐸の審査をも果し、古墳では昨秋石枕造附割竹形石棺三箇を発掘した讃岐綾歌郡の前方後円墳快天山が特に注意をひいたので、横山氏は現地に殘留墳丘の実測等に従事された。

新入生歓迎考古学談話会 五月二十三日午後三時より 於学内花谷会館

新入生 研究発表

シリアのハマの遺蹟発掘略報告を眺みて

讃岐快天山古墳

東方学会京都支部関係

講演会 六月三十日於人文科学研究所講堂

東方医業史と千金方

辭儀と書儀

京大人文科学研究所関係

人文科学夏期講座

八月一日 イギリス市民革命 河野 健二

アメリカ独立革命 樋口 謹二

八月二日 ルソーの革命思想 杉之原好一

フランス革命の特質

八月三日 明治維新の思想的背景 前川貞二郎

最近における離婚の一般的傾向 大山 幸彦

中国近代思想と進化論 太田 武男

八月四日 親子関係について 小野川秀美

八月五日 社会調査入門 清水 盛光

近畿農村の生態 森口 兼二

今西 錦司

京大支那学会関係

春季大会 六月二三日於京大文学部第九教室

漢代の正卒更卒について 西村 元祐
草堂詩余の諸本 中田勇次郎

東方学術協会関係

夏期公開講座 於京都毎日会館
七月廿八日 大学と花売 梅棹 忠夫

鴨川の今昔 新村 出

七月廿九日 近江と鯉 篠田 統

宇治断碑物語 橋川 時雄

七月卅日 丹後漁村の慣行 前田 正治

京阪文化の接点 井上吉次郎

自然史学界関係

第四十回例会 七月七日 於人文科学研究所

对馬の薇委 中尾 佐助

第四十一回例会 七月廿一日 於人文科学研究所

新旧大陸に於ける編作の普及 浜田 秀男